

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：健康増進対策費

事業名 健康づくり指導費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 健康増進係 電話番号：058-272-1111(内2548)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 584 千円 (前年度予算額： 649 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	649	0	0	0	0	0	0	0	649
要求額	584	0	0	0	0	0	0	0	584
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県民の健康づくりを推進するための保健活動に対する業務指導、並びに災害時の保健活動を迅速かつ効果的に展開するための体制整備を推進する事業を実施する。

(2) 事業内容

- ・保健所における健康づくり推進に関する市町村支援
- ・災害時の保健活動体制整備の推進
- ・岐阜県保健師活動指針の推進

(3) 県負担・補助率の考え方
事業費全額について県費負担

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	50	研修会講師報償費
旅費	410	研修会講師費用弁償・業務旅費
需用費	69	事務消耗品費
役務費	43	電話・メール等
使用料及び賃借料	12	会場使用料
合計	584	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健活動指針
- ・岐阜県災害時保健活動マニュアル

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県民の健康づくりを推進するための、地域の健康課題を把握し、市町村が地域の実情に応じて実施する健康づくり事業の企画に関する指導や、市町村保健活動のあり方・方向性について「岐阜県保健師の保健活動指針」を基に各保健所において市町村支援を実施する。

また、災害時の保健活動を迅速かつ効果的に展開するため、災害発生時に備えて平常時に準備しておくべきことについて、体制整備の推進を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
①県下市町村における統括的な役割を担う保健師の配置 (保健所設置市除く)	19	25	31	36	41	61%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 県保健師活動指針の周知 災害時の情報伝達訓練及び研修会の開催及び保健所による災害時の保健活動等に関する市町村支援（41市町村）
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>県（保健所）は市町村の求めに応じて、広域的及び専門的な立場から、技術的な助言や支援並びに連絡調整に努めている。 また、災害の保健活動については、平常時から継続して準備することができるよう、保健所等の広域的な視点での市町村支援を実施している。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	<p>県民の健康づくりを推進するため、市町村及び県の保健師の資質向上を目的とする支援や、危機管理時の対応については継続していく必要がある。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>保健所を中心に県内全ての市町村に健康づくり事業等の支援や岐阜県での発災を想定した視点で、平常時から災害時の保健活動を意識して準備することができている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 他都道府県での災害時保健活動の経験を通じて各々の経験値は上がっているが、保健活動推進を図るマネジメント面での課題がある。今般の新型コロナウイルス感染症の対応経験も踏まえ、組織づくり、受援及び支援体制等の整備が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 平時から、災害時の保健活動推進の要となる活動体制について理解を深めることが重要であり、災害時に統括的立場の保健師が担う役割・機能について理解を深め、災害時の保健活動の体制づくりに向けて、統括的立場の保健師を中心とした保健活動体制の整備が必要である。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	